

「読む力」から「読み解く力」へ

～ハキハキ・スラスラ・正しく読もう～

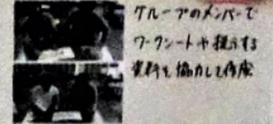
根拠

昨年度までは算教科を窓口として
対話を繰り返しながら課題の解決へ
向かう授業作りに取り組んできた。しかし問題文や
教科書に書かれている言葉が読めない、読
き取れない児童が多い。

1学期は校内研主題にもついで、朝学習での
漢字指導や全校での暗唱の取り組みなど、共通の
実践も行った。一方で、日々の国語科の授業作りについては
各学級担任に任せ、学期末にはそれぞれの取り組み状況を
交流した。(個)
夏休み中に全員で同じ研修(赤松研修)を受け本校が
目指す国語科の授業の方向性を共通理解し、
2学期以降の授業作りの指針とした。

2年2組 指導案検討
メンバー
7月の設定したグループ
学習主任(2名)
管理職
担任5名
研修主任 +α

単元の目標や
評価基準を設定する時は、
児童とどんな力をつけたいのか
そのためにはどのような実践が必要か
学力中〜下位の子どもに考え込
ませる



グループの中で
フロンティア提出の
資料を揃えて座
談

自分たちが役割をこなす。実際に
対話することで、こんな言葉も
引き出したいのか、どこで読めれば
具体的にイメージできた。
並行読書教材をより深く読む機会が
教材研究が深まった。



並行読書マトリクスや
モデルの提示など、
自身の授業にも
取り入れた。

○...マトリクス表や
モデル動画、質問集(赤松)
などの提示資料の準備も
十分に行うことができた。
何を話して...かかわらず、
対話に参加できない子は
ほとんどいなかった。
△...資料のツイエを示し、
使うタイミングなどについては
改善の余地がある。

学校教育目標
ふるさと愛し、心豊かに
たくましく生きる
子ども

目指す児童生徒の姿
教科書などの書かしている文章を
スラスラと読める。
文章の意味が理解できる。

先生の学び



・魅力的な題材や
教材で、子どもの意欲を
引き出したい。
それを実現するために
どのように課題を設定したい。

・授業の中で山場を
作ることも大切
主発問に重きを置きたい。
児童を引きつける導入の工夫

5月17日 3年4組
5月18日 職員研修
・今年度の研究の目標作り
・目標の方向性(教科)話し
・文章の意味が理解できる

5月24日 3年4組
5月25日 打ち合わせ
・授業のフロンティアの
書込み
・日間的な授業と見合
・自由参観週間の授業

5月31日 特別支援科
7月1日 授業公開
研究会
・研究主題の話し合い
・授業のフロンティアの
書き込み(5月)打ち合わせ
・同僚と連携

6月26日 2年2組
初任研授業(道徳)
・参観は自由
・フロンティア書き込み
(前回の話し合い)と
今回、朝学習で実践

7月27日 校内研究会
25日からの研修を翌々
2学期の授業と見直し
・4人ずつのグループ作り
・教科書中の課題をフロンティア
・グループのメンバー研究(公開)
・授業の見直し

7月30日 2年2組
初任研授業(国語)
・参観は自由
・フロンティア書き込み
(前回の話し合い)と
今回、朝学習で実践

8月3日 プロジェクト研究会④
パワーアップ研修②

8月22日 プロジェクト研究会⑤

9月4日～15日
自由参観週間の定着
6月に実施したものが5月分

9月21日 6年2組
国語科授業研究会(赤松)
・市の訪問
・参観の研修と打ち合わせ
・実践

10月23日 2年2組
国語科授業研究会(赤松)
・対話と並行読書の
参観
・指導、先生と打ち合わせ

9月の授業研究会
参観
・参観の研修と打ち合わせ
・実践

本校の現状と課題
児童内局への参観や教科書対話の
授業力の向上
読め、読める授業

教員が自身の学びや
成長を実感できる
ような校内研究(個)

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
・定期的な話し合い
・時間をこなし
・先生の学びが共有

先生の授業を
参観して強み
・参観して見つけた
・参観して見つけた
・参観して見つけた

いろいろな教員に
役割を担ってもら
・1人ひとりが自分ごと
として校内研に参加し
てもらいたい

グループでの研究や
協議を更に活性化(個)

見直しを押し、自分や
同じグループの教員
の授業を参観し、他の
学級の授業を参観(個)
してほしい。(個)

5月2日
プロジェクト研究会①

5月22日
プロジェクト研究会②
パワーアップ研修①

7月7日
プロジェクト研究会③

8月3日
プロジェクト研究会④
パワーアップ研修②

8月22日
プロジェクト研究会⑤

○...6月27日は休校
・休校中参観の研修
も行って欲しい

△...今年度は、研修
の習慣化が重要